



**川内小学校**

◆校内マラソン大会

1月17日、恒例の校内マラソン大会が行われました。子どもたちはこの日のために昨年12月から業間（20分休み）や体育の時間に練習を積んできました。寒い日も風の吹く日も頑張って走っていました。

インフルエンザの流行が心配されましたが、一斉に広がることはなく、無事大会当日を迎えました。この日は保護者の方がマラソンコースの8地点に立って子どもたちの安全を見守ってください、沿道にはご親戚や地域の方も大勢応援に出てくださっていました。そんな中、子どもたちは練習の成果を発揮しようと、一生懸命走りました。堤防の道は風が強く吹いていましたが、多くの声援に支えられ、自己ベストタイムを出せた子がたくさんいました。努力した後の達成感と家族や地域の方の応援のありがたさを実感した子どもたちは、みんないい表情をしていました。



援のありがたさを実感した子どもたちは、みんないい表情をしていました。

〈児童の作文より〉

今日は、いよいよマラソン大会。5・6年生は2kmでした。1・2年生のマラソンが始まりました。弟は3位でした。すごいと思いました。次に3・4年生が走り出しました。私はだれが1位だろうと考えました。



ついに5・6年生。私はドキドキしました。「ヨー・ドン！」という音が聞こえました。走り出すとお母さんやおじいちゃん、いとこが来ていてみんなが応援してくれたので、練習より上に順位が上がりました。とってもとってもうれしかったです。

のぞみ教室

◆のぞみ教室15周年記念行事

昨年11月9日、教育支援センターのぞみ教室で、開室15周年を迎える

にあたり、記念行事を実施しました。のぞみ教室の卒業生をはじめ保護者の皆さん、かつての指導員の先生方など県内外から50名を超える方々が集い、開室15周年を祝いました。行事の準備に携わってきた通室生は、バザーで商品を販売するなど生き生きと働きました。昼食に手づくりカレーを食べながら、なつかしい思い出話を花を咲かせた後、15年の歩みをまとめたスライドショーが上映されると、かつてのなつかしい写真に思わず歓声があがりました。また、通室生や卒業生、指導員によるよさこい踊り、歌やダンスが披露されると、会場は感動に包まれました。



終始なごやかで温かい雰囲気の中、近況を報告し合い旧交をあたためる姿がこちらから見られました。

この日のために帰省して参加した卒業生の大学生は、「のぞみ教室が僕に立ち直るきっかけを与えてくれました。小学校から知らず知らず頑張り続け、消耗していた自分にエ

ネルギーを補充してくれました。それが次に踏み出せる力になったんです。」と語っていました。

保護者からは、「思春期の長くて暗いトンネルに唯一灯りをともし続けてくれたのがのぞみ教室でした。のぞみ教室の先生方のご支援があった今のわが子があります。」  
「ここで成長した子に胸を張って頑張ってもらいたいし、これからのぞみ教室が地域のセイフティーネットとしてあり続けてほしい。」といった声がかれました。  
次の20周年記念行事での再会を誓い合い、別れを惜しみながらの閉会となりました。

